

自販機から子ども食堂応援

八千代の会社に初設置

休憩中の従業員らが自動販売機で飲料を買った際に、一定額が子ども食堂への寄付になる「子ども食堂応援自販機」が、八千代市上高野の廃棄物処理・リサイクル

従業員「一息」で貢献

ル会社「東亜オイル興業所」の本社に設置された。寄付先は、隣接する船橋市内の子ども食堂26施設で構成する「ふなばし子ども食堂ネットワーク」で、自販機を通じた寄付受け入れは初めて。コカ・コーラボトラーズジャパン社の自販機で、同社としても千葉県内には初導入という。

割や多くの人が支え組みを感じるデザインになった。

東亜オイル興業所と、本社勤務の数は約110人おり、手や出入り業者を自販機の利用頻度という。SDGs

可能な開発目標（のにも力を入れる中で、日の1本1本が子どもの成長につながる池慎一郎社長）と、を決めた。

子ども食堂ネットワークを代表し、10月にお披露目式に参加「おむすび食堂」市高根台）のメンバー「ありがたい。この機で、子ども食堂にしてみたら」と県内各地に設置が期待していくことも期待一本の価格は、は常通り。早速、従業員が購入していた。地にある車庫にも、仕組みのもう一台をた。

気軽に利用してもらおうと、敷地入り口すぐの一角に設置した同自販機。子どもたちの表情や食べ物、果物、動物などをにぎやかに描いた優しいタッチのイラストが彩る。コカ・コーラボトラーズジャパンは、東京都や埼玉県で既に同自販機を展開しているが、今回の塗装は千葉オリジナルのデザイン。地域の子ども食堂を応援する子ども食堂

千葉日報社
2022年11月1日号

浦安の「SOTA」さんがイラスト



オリジナルの優しいイラストが包む「子ども食堂応援自販機」で早速、飲料を購入する社員

